

第2回 人獣感染防御研究センター機器使用講習会

化学発光検出法

講師: 富士フイルム株式会社
ライフサイエンス事業部
張替 実 氏

使用機器: LAS-1000UVmini
日時: 平成21年 7月 7日(火)
14:00~16:00

場所: 医学部本館7階7S16
受講者数: 10 名程度



特長

- LAS-1000シリーズと同じ、高級機仕様のカメラシステムを採用
- 130万画素、高解像力を誇る独自開発の冷却CCDカメラ
- EtBrゲルを高感度LASカメラで検出、定量解析を実現
- 撮影距離が短く、化学発光サンプルにも対応
- コンパクトで省スペース性に優れ、操作も簡単

(受講を御希望の方は下記までご連絡ください)
問い合わせ先: 人獣感染防御研究センター(石原)
内線: 6153 e-mail: irdd@gifu-u.ac.jp

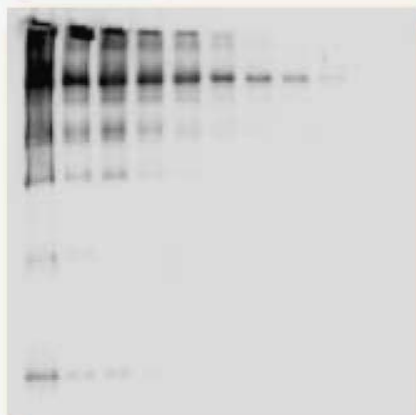
画像入力部

- カメラヘッド及びカメラコントローラー
- 撮像素子 : 1インチCCD(オンチップマイクロレンズ付き)
- 画素数 : 130万画素 1384(H) × 922(V)
- 画素サイズ : 11 × 11 μm(正方画素)
- 冷却方式 : 電子冷却強制空冷
- 冷却温度 : -30°C(最大)
- ダイナミックレンジ: 4桁
- 撮影サイズ : 9 × 14cm

対応試薬

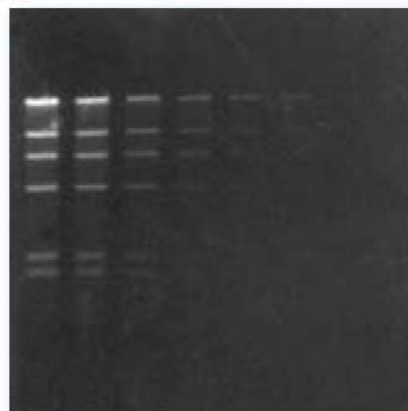
- 蛍光法 : EtBr
- 化学発光法 : ECL+™, ECL™, SuperSignal®, ImmunoStar®, CDP-Star®等

化学発光法



■ ECL™によるWestern Blotting
サンプル: Mouse IgG

蛍光法



■ Ethidium Bromide
λDNA / Hind III
アガロースゲル電気泳動